■ 第 13 回『SCIX スポーツ・インテリジェンス講座』—スポーツの多様な見方、考え方— ~ラグビーW杯 2019 日本大会から始まる "ゴールデン・スポーツイヤーズ"。 その先陣を切るラグビーW 杯の「成功」で示したいスポーツの価値向上~

第3回「2019 ラグビー₩杯の「成功」でつかみたい「ラグビー人気復活」。

そこから、もう一度始めるラグビー文化定着への議論や取り組み――。」

講師:村上晃一氏(ラグビージャーナリスト)

平尾 剛氏 (ラグビー元日本代表 神戸親和女子大学教授)

日時: 2019年8月24日(土) 18:30~20:00

会場:神戸国際会館セミナーハウス



今期ラストとなる SCIX スポーツ・インテリジェンス講座は、ラグビーW 杯日本大会開幕まで残すところ 27 日!というタイミングでの開催となりました。今回のテーマは、「2019 ラグビーW 杯の『成功』でつかみたい『ラグビー人気復活』。そこから、もう一度始めるラグビー文化定着への議論や取り組み――。」

"2015 年の轍は踏まない一"。これは 2019 ラグビーW 杯日本大会を直前にした、

ラグビー関係者全ての偽らざる心境でしょう。あの南ア戦を含め予選3勝という素晴らしい結果を残し、ラグビー人気復活を思わせた前回の2015年大会。しかし結果は、国内最高峰・トップリーグの集客数が翌年には早くも落ち込むなど、競技人気の安定化には結びつかなかったと言えます。2019年はW杯期間中の熱気の高まりを追い風に、スポーツ観戦文化を含めたラグビー文化定着への取り組みをどう進めるべきか、知見豊かな講師陣に語り合っていただきます。

第 13 回『SCIX スポーツ・インテリジェンス講座』ラストの回を飾る講師は、SCIX のイベントでもおなじみのお二人。ラグビーW 杯日本大会開催にあたり各種メディアに引っ張りだこの、ラグビージャーナリスト・村上晃一氏と、ラグビー元日本代表であり、現在は神戸親和女子大学教授として教鞭を振るう平尾剛氏。

W杯日本大会開幕直前というタイミングに加え、ラグビー観戦初心者からラグビー通にも人気のお二人が講師ということで、今回は、100名を超える受講者にご参加いただき、会場はいつにも増して熱気ムンムン。会が始まる前から、講師陣への質問として質問事項を記した紙を受付に言付ける参加者もいらっしゃるほど、関心の高さがうかがえました。

SCIX 理事・美齊津氏による講座開幕の挨拶の後、講師お二人を拍手で迎え入れ、会はスタート。まずは、雨や寒さなど予想外の天候に見舞われた日本代表の網走合宿について、村上氏から状況をレポートしていただきました。「実際めちゃめちゃ寒かったが、怪我人などもなくいい状態。とはいえ、(網走合宿に参加している代表候補) 41 名から 10 名が外れるという厳しい現実。層は厚いが、(選出メンバーは)だいたいわかる(笑)」という村上氏の言葉に、すかさず美齊津氏が「教えてくださいよ(笑)」と切り返し、受講者も興味津々の様子でメモを取る姿も見られました。スクラムハーフが何人になるかがポイントと前置きしつつ、選出されるであろう予想メンバーの名前を列挙。「ここまで言うたら、あとはロックとフランカーが誰になるかでメンバー全員決まっちゃうじゃないですか(笑)」という村上氏に、またも美齊津氏が「ここまで聞いたら知りたいですよね?」と会場に賛同を求め、ロックとフランカーのメンバー予想についても追求。講座開催の5日後、去る8月29日、ジェイミー・ジョセフHCが会見を開き、最終登録メンバー31人が発表されましたが、果たして講師お二人の予想はどうだったでしょう?

【参照:網走合宿メンバー】

PR: 石原慎太郎 (サントリー) 稲垣啓太 (パナソニック) 木津悠輔 (トヨタ自動車) 具智元 (ホンダ) 中島イシレリ (神戸製鋼) 三浦昌悟 (トヨタ自動車) 山下裕史 (神戸製鋼) 山本幸輝 (ヤマハ発動機) バル・アサエリ愛 (パナソニック)

HO: 堀江翔太 (パナソニック) 坂手淳史 (パナソニック) 堀越康介 (サントリー) 北出卓也 (サントリー)

LO:アニセ・サムエラ(キヤノン)トンプソン・ルーク(近鉄)ビンピー・ファンデルバルト (NTTドコモ) ヘル・ウベ(ヤマハ発動機)ジェームス・ムーア(宗像サニックス)

FL:ツイ・ヘンドリック(サントリー)徳永祥尭(東芝)布巻峻介(パナソニック)◎リーチ・マイケル(東芝)ピーター・ラブスカフニ(クボタ)姫野和樹(トヨタ自動車)

NO8: アマナキ・レレイ・マフィ(NTTコミュニケーションズ)

SH:茂野海人(トヨタ自動車)田中史朗(キヤノン)流大(サントリー)

SO:田村優(キヤノン)松田力也(パナソニック)

CTB: 梶村祐介(サントリー)ウィリアム・トゥポウ(コカ・コーラ)中村亮土(サントリー) ティム・ベネット(宗像サニックス)ラファエレ・ティモシー(神戸製鋼)

WTB: 福岡堅樹(パナソニック) アタアタ・モエアキオラ(神戸製鋼) レメキ・ロマノラバ(ホンダ)

FB:松島幸太朗(サントリー)野口竜司(パナソニック)山中亮平(神戸製鋼)

【参照:最終登録メンバー】

PR: 稲垣啓太 (パナソニック) 木津悠輔 (トヨタ自動車) 具智元 (ホンダ) 中島イシレリ (神戸製鋼) バル・アサエリ愛 (パナソニック)

HO: 堀江翔太(パナソニック) 坂手淳史(パナソニック) 北出卓也(サントリー)

LO: トンプソン・ルーク(近鉄) ビンピー・ファンデルバルト(NTTドコモ) ヘル・ウベ(ヤマハ発動機) ジェームス・ムーア(宗像サニックス)

FL: ツイ・ヘンドリック (サントリー) 徳永祥尭 (東芝) ◎リーチ・マイケル (東芝) ピーター・ラブスカフニ (クボタ) 姫野和樹/NO.8 (トヨタ自動車)

NO8: アマナキ・レレイ・マフィ(NTTコミュニケーションズ)

SH:茂野海人(トヨタ自動車)田中史朗(キヤノン)流大(サントリー)

SO:田村優(キヤノン)松田力也/CTB(パナソニック)

CTB: ウィリアム・トゥポウ (コカ・コーラ) 中村亮土 (サントリー) ラファエレ・ティモシー (神戸製鋼)

WTB: 福岡堅樹 (パナソニック) アタアタ・モエアキオラ (神戸製鋼) レメキ・ロマノラバ (ホンダ)

FB: 松島幸太朗/WTB (サントリー) 山中亮平(神戸製鋼)

31 名の選出メンバーは、講師お二人の予想が的中と言える顔ぶれとなりましたが、「布巻選手(パナソニック・FL)が選ばれるかどうかに注目。彼ひとりだけ違うタイプ。グラウンド上だけでなく、コミュニケーション的な面や、理解度の部分でチームに必要な存在。バックス出身でフォワードに転向した選手で、身体作りはもちろん、人一倍努力しているはず」と、講師お二人が注目していた布巻選手は残念ながら登録メンバーから外れるという結果となりました。選出されたメンバーは、日の丸と共に、選に漏れたメンバーの想いを背負い大会に臨んでくれることでしょう。

講師お二人による代表メンバー予想に続き、ジェイミーJAPANの成長に話題は及びます、宮崎合宿を経て臨んだ PNC (パシフィック・ネーションズ・カップ) が3戦全勝という素晴らしい結果であったこと。特に対戦相手がいずれもフィジカルに優る相手であるにも関わらず、そこでいい戦い方ができたということは、ジェイミーJapanの成長を物語っていると言えるでしょう。

【参照:PNC 試合結果】

日本代表 34-21 フィジー代表 日本代表 41-7 トンガ代表 日本代表 34-20 米国代表

これについて村上氏は「フィジー、トンガ、アメリカ戦、全てにおいてほぼゲームを支配できていた。試合の流れを読んで、先手先手で修正し、チーム内でリカバリーできていた。この4年でかなり変わった。逞しさを感じる、これまでの日本代表にはないチームになって

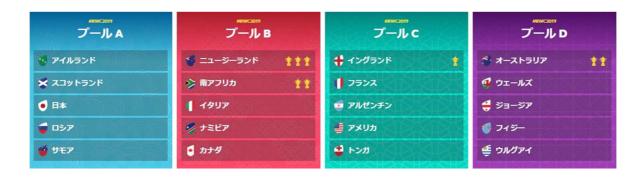


きた」と成長ぶりを評価。平尾氏も「ポゼッションラグビーのスタイルで、攻撃力がついた。アメリカ戦でのリーチ(マイケル)のトライが象徴的。相当強くなっている」と日本代表の成長ぶりに同調。PNCでの善戦もあり、W杯日本大会での活躍に一層期待が高まります。

ということで、ここで、受講者の最大の関心事と言える、W杯日本大会、日本代表の予選・プール戦について、講師お二人に予想をしていただきました。まず、日本の初戦となるロシアについて。「ロシアはフィジカルが強い。ヨーロッパでは中堅のチーム。規定違反で他のチームが出られなくなったから出られたと言える。出場国の中ではレベルは低い。仮に苦戦したとしても勝てる相手。快勝の可能性も高い」と村上氏。さらに、「フォワード戦に持ち込んで最後はキック。昔の大阪府警や京産大のようなスタイル(笑)」とラグビー通の笑いを誘います。一方、「快勝するとは思うが、初戦はキーになるので、きちんと分析をして対策を練って挑むべき。万が一ここで負けると士気が下がる。大事な試合」と平尾氏。

【参照:日本代表予選リーグ対戦スケジュール・各プール】

キックオフ	対戦カード			会場
9月20日(金)19:45	旦本 6	vs.	ロシア	東京スタジアム
9月22日(日)16:45	アイルランド	vs.	<u>スコットランド</u>	横浜国際総合競技場
9月24日(火)19:15	ロシア	vs.	サモア	熊谷ラグビー場
9月28日(土)16:15	日本 ●	vs.	アイルランド	小笠山総合運動公園エ コパスタジアム
9月3 <mark>0日</mark> (月)19:15	スコットランド	vs.	サモア	神戸市御崎公園球技場
10月3日(木)19:15	アイルランド	vs.	ロシア	神戸市御崎公園球技場
10月5日(土)19:30	旦本 ●	vs.	サモア	豊田スタジアム
10月9日(水)16:15	スコットランド	Vs.	ロシア	小笠山総合運動公園エ コパスタジアム
10月12日(土)19:45	アイルランド	vs.	<u>サモア</u>	東平尾公園博多の森球 技場
10月13日(日)19:45	旦本 6	vs.	スコットランド	横浜国際総合競技場





続いて2戦目、アイルランド戦について。「PNCのフィジー戦のような力が出せれば勝てる。アイルランドに勝てば間違いなく決勝へ進める」と村上氏。「自分のリズムでアタックできればイケる気がする」と平尾氏も期待を寄せます。さらに平尾氏は、「(波に)乗った時のサモアは怖い。(日本が2戦目の)アイルランドに勝って慢心があると(勝つのは)難しい。サモア戦が

鍵を握る」と3戦目のサモアについてコメント。

また村上氏は、日本が4戦目で対戦するスコットランドについて、こう言います。「(日本とスコットランド) どちらかが2位で(予選を通過)抜けるとなった時のスコットランドは怖い。伝統国なので簡単には負けない。(選手個人の)才能に恵まれない中でやってきたチームなので、日本がそこに勝つのはなかなか難しい」。それに対して、平尾氏は「スコットランドは、ボールを展開するような戦術を取っているが、このところ上手くいっていない印象。そこを上手くつけば、イケる気もする。これまでのスコットランドと比べると付け入る隙がある」と日本の勝機をうかがわせます。しかしながら、「スチュアート・ホッグは上手い。ホッグだけはフランス戦(W杯前のテストマッチ)でもゲインしている」「あの選手だけ違うレベルに居る」「世界屈指のフルバック」と、スコットランドのフルバックを講師二人が絶賛。日本の対戦相手とはいえ、世界最高レベルのプレーヤー&プレーがどういうものなのか?それを目の当たりにできるチャンスがもうすぐそこ!と思うと、講師陣の話を聞いているだけでワクワクしてきます。

日本代表のプール戦予想の後は、他プールの予想と見どころについて語っていただきました。「過去、ニュージーランドはプール戦で負けたことがない。ニュージーランドの予選通過は当確と言えるでしょう。プールCとDの1位通過に注目。オーストラリア vs フランス、イングランド vs オーストラリアは好カード。いずれも大分開催。大分が面白い!」と村上氏。また、「プールCはイングランドが1位通過(の予想)。2位通過争い(となるであろう)のフランス vs アルゼンチンが面白い。この後、プールBのニュージーランド vs 南アフリカがあるので、移動して両ゲームを会場で観たいが間に合わないのでテレビで観る予定(笑)」という村上氏のコメントに受講者も爆笑。平尾氏はプールCのイングランド、フランス、アルゼンチンに注目。中でも、前日本代表 HC エディ・ジョーンズ氏率いるイングランドは、「ランナーが揃っている上に、フォワードも強い。イングランドは相当強い」とイングランドの強さを強調。これを受けて、村上氏は「エディさんの言っていることはすべて布石。あの人はおもろい!」とエディ氏の印象をコメント。一方、プールDのフィジーは暑さには強いが湿度に弱いそうで、(まだ湿度の高い日本の)9月の試合は波乱が起きると言われているのだとか。そういった気候の影響もあり、フィジーvs オーストラリアも面白いと村上氏。この夏も、日本各地で台風による影響が出ています



が、9月も台風襲来の恐れがあることから、台風が来た場合の対応も考えられているようです、「台風が来て試合中止になると、引き分け扱いとなり、勝ち点2がもらえる。弱いチームが台風で試合中止になり、勝ち点を取る可能性も(笑)」と、台風によって波乱の展開になる可能性があることを

示唆。運も実力のうち、となるのでしょうか?極力台風は来ないことを願いますが、波乱の展開を期待するラグビーファンも多いのではないでしょうか。日本戦全試合と準決勝、決勝などの10試合を J-Sports で村上氏が解説。さらに、J-Sports では、全試合 4K で生放送。会場で観戦できない方は J-Sports での生中継を楽しみましょう。

講師お二人からW杯の展望を聞いたところで、会も後半へ。講座開催の8月下旬時点で160万枚のチケットが売れ、既に8割の集客が見込まれているW杯日本大会。「これほどまでに、NHKや民放でラグビーがニュースとして取り上げられたことはない」という村上氏の言葉の通り、盛り上がりを見せていますが、ここからは、「W杯開催を機に、ラグビー人気・ラグビー文化を定着させるためにはどうしたら良いか。日本のラグビー界の将来、今後」について語っていただきました。

まず、ラグビー協会の動きとして、6月29日に開催された日本協会の評議会・理事会で役員 改選が行われ、森重隆会長・清宮克幸副会長・岩渕 健輔専務理事体制がスタート。これについ て村上氏の見解をうかがいました。「実務派の、改革できそうな人を選出したということでしょ う。新プロリーグ構想は清宮さん、外向けの海外などとの調整は岩渕さんというように役割分担 がされるようになった」。さらに、プロリーグ構想については、「トップリーグをプロ化するの ではなく、トップリーグをリセットする。W 杯の 12 の開催場それぞれに、企業の社員ではなく 完全プロのプロチームを作る」と。プロリーグ構想について平尾氏は、選手のセカンドキャリア 問題を指摘。「選手が皆プロを希望しているわけではない。その辺りの調整や根回しが必要。さ もなくば、絵に描いた餅になりかねない。協会幹部がきちんと地ならしをして、ソフトランディ ングすることを願う」。村上氏も平尾氏の意見に同調し、こう続けます。「プロリーグ構想は、 スーパーラグビーの選手が日本に来るというイメージでもあるので、現トップリーガーが全員プ 口になれるわけではない。能力が達していないとプロにはなれない。日本選手が高いレベルでプ レーできるチャンスが広がる」。また、平尾氏は、代表資格を保持しながらプレーできる日本の プロリーグは、スーパーラグビーの選手にとっても有益と、プロリーグ構想のメリットを提言。 一方、村上氏は、 企業ラグビーの選手について、「プロの下」という意識にならないよう、プ ライドが保たれるよう考慮して欲しいと切望していることを吐露。新体制スタート、さらにプロ

リーグ構想により、日本ラグビー界変革の年となりそうですが、ラグビー文化、より良いスポーツ文化定着となることを願います。

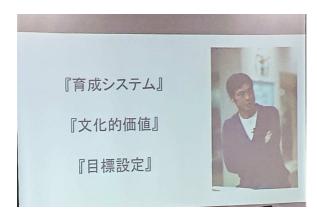
会の終盤、話題は 2019W 杯後のレガシーについて。講師お二人には事前に「W 杯開催を機に、 ラグビー人気・ラグビー文化を定着させるためにはどうしたら良いか」について、キーワードを 挙げてもらいました。

平尾氏の考える「ラグビー人気・文化定着への三つのキーワード」は・・・

- 育成システム
- 文化的価値
- 目標設定

村上氏の考える「ラグビー人気・文化定着への三つのキーワード」は・・・

- 環境整備
- 発信力
- ラグビー愛



プロジェクターに映し出された、それぞれのキーワードに込められた意図を解説いただきました。まずは平尾氏が掲げたキーワードについて。一つ目の「育成システム」については、自身が大学時代に経験したアフターマッチファンクションでのシーンを例に挙げながら説明してくださいました。負けても卑屈にならずに、相手チームと会話を楽しむ上級生らの姿に、勝敗が全てではないことを

学んだと平尾氏は振り返ります。勝利を目指しはするが、勝ち負けだけではないことを指導者は じめ、保護者や大人たちが示していくことが大事。レフリーや対戦相手にも敬意を払う、ノーサ イドの精神などは、ラグビーに内包されている「文化的価値」。二つ目のキーワードである、そ ういった「文化的価値」を指導者に対してきちんと指導することで、ラグビー文化が定着すると 平尾氏。三つ目の「目標設定」は、どの方向に向かおうとしているのか協会などトップの組織が しっかり提示することで、各人が自分のやれることをコミットしていけるのではないかと、キー ワードの意味を解説。

続いて村上氏。「環境」=ラグビーできる場所、「発信力」=広報ベタ、「ラグビー愛」=ラグビーというスポーツを理解し、傷つけない。指導者が大事にすべきもの…と3つのキーワードの意味を説明しつつ、先の平尾氏のコメントにあったラグビーに内包される文化について自身の知見を語ります。ラグビーのレフリーとトークイベントを行った際に印象的だった、レフリーの

言葉を紹介。「サッカーではレフリーに猛抗議するシーンがよく見られますが、ラグビーではレ フリーに文句を言わない。試合後に怖い目に遭ったこともない。レフリーは、ゲームを良いゲー ムにファシリテートするのが仕事。それを選手もわかっているので文句を言わない」。この言葉 に受講者も「確かに」「なるほど」といった様子。「ラグビーは、激しいからこそ感情のコント ロールを学ぶ。振る舞いを学ぶのがラグビーの価値。ラグビーを真似して、いろいろなスポーツ にそういった考えが広まっていくと良い」と村上氏。「スポーツ全体の文化として生き続けて欲 しい。ひとりでも多くの人に、ラグビーって良いスポーツやね!と言ってもらえるよう自分ので きることを実行する」と平尾氏。ラグビーW 杯自国開催は、こういったラグビー文化やラグビー の価値を発信し、定着させる絶好の機会であり、これを契機に、それらを後世に伝えることが私 たち大人の使命であると、会場に居た全員が実感したことと思います。

予定時間が押し迫る中、最後は恒例の質問タイム。W杯に関することから、競技人口拡大、チ ームやグラウンドの環境不足問題など、受講者からの様々な質問に対し、真摯にお答えくださっ た講師お二人。盛大な拍手で講師陣を送り出し、講座は閉幕。今回もたくさんの方々にご参加い ただき、ありがとうございました。

今期の SCIX インテリジェンス講座はこれにて終了ですが、W 杯日本大会開幕 12 日前となる 9 月8日(日)、神戸大会の会場でもあるノエビアスタジアム神戸にて、大会前イベントを開催い たします。午前中開催の第1部では、小学4年生~6年生を対象とした「SCIXスペースボールカ ップ」を開催。午後2時からの第2部では、今回の講座の講師、村上氏と平尾氏に加え、日野レ ッドドルフィンズ・木津武士氏をお迎えして、トークショーを開催します。大会直前のこちらの イベントにも多くのご参加お待ちしております。



(レポート 中野里美)

スポーツ振興くじ助成事業





